



農業の力で、新しい風を。平川市の未来をつくる「産業連携」の舞台裏



平川市公式note
2026年3月23日 09:18

...

こんにちは！平川市です。
春の暖かさを感じられるような陽気が続いていて、桜が咲くのが待ち遠しいですね🌸

さて、平川市の強みといえば、なんといっても豊かな「農業」！
この魅力をさらに磨き上げ、新しい産業を生み出すための熱い挑戦が続いています。

今回は、農家さんと商工業者が手を取り合う「産業連携」の検討会や、プロから学ぶ勉強会の様子をレポート！
市の未来を話し合う「産業振興推進会議」での議論も含め、平川市が目指す「いつまでも住みやすいまちづくり」の構想をたっぷりお届けします。

▼ 目次

農業×産業の化学反応を目指して！検討会を開催

プロの視点に学ぶ。「選ばれる農産物」へのヒント

1年の総仕上げ。平川市産業振興推進会議

平川市の挑戦は、これからも続きます

農業×産業の化学反応を目指して！ 検討会を開催

平川市の農家の皆さんが持つ素晴らしい「技術」や「農産物」。
これを単体で終わらせるのではなく、加工（2次産業）や販売・サービス（3次産業）の方々をつなげることで、新しい価値を生み出せないだろうか？
そんなワクワクするテーマで検討会を開催！

検討会のタイトルは「**新事業創出に向けた課題解決について**」。
少し硬い名前ですが...「平川市の農産物を使って、どうすれば新しい商品やサービスを生み出せるか」を本音で語り合いました。



様々な意見が飛び交いました

議論の中で見えてきたのは、新しいことに挑戦する際に避けて通れない4つの要素。

- **ヒト**（担い手）
- **モノ**（原材料・製品）
- **カネ**（資金）
- **情報**（ノウハウ・トレンド）

これらに加え、「農業独自の技術継承」や「どうやって販路を広げるか」といった切実な課題も共有されました。

しかし、一人の悩みも、異なる産業のプロが集まれば解決の糸口が見つかるもの。
産業の垣根を超えた「連携」こそが突破口になる、と確信できる会となりました！



「他業種と話し合う機会がいままで無かったのでとても有意義な時間を過ごせた」
「ニーズの違いなどを認識できて良かった」という声を聞くことができました

検討会の締めくくりとして、参加されたA-FACTORYの真壁社長からのメッセージをご紹介します！

地域の横のつながりが強固になるのは素晴らしいことですが、これを一過性のイベントで終わらせてはいけません。
大切なのは、日常的に情報や課題を共有し、継続的に街を盛り上げていく『熱量』を持ち続けることです。
また、自社で良い商品をつくる努力と同じくらい、それを届けるための『販路』を確保する視点も欠かせません。
合併して多様な個性が集まった平川市だからこそ、企業同士が手を取り合い、それぞれの意見を街の活力に変えていけば更に魅力的な街になると思います。



真壁社長、ありがとうございました！

プロの視点に学ぶ。「選ばれる農産物」へのヒント

続いてご紹介するのは、外部講師を招いて行われたZoom勉強会です。
地域活性化のプロフェッショナルお二人にたっぷりとお話を伺いました！

有限会社良品工房 白田さん

東京駅構内で「ニッコリーナ」を運営し、バイヤーとしての経験が豊富な白田さんからは、「規格外品」への付加価値の付け方など、工夫一つで商品が生まれ変わるアイデアをご紹介いただきました。

株式会社eager 五十嵐さん

青森県内をはじめ、多くの自治体のブランディングを数多く手掛ける五十嵐さんからは、デザインやストーリーの力で、消費者に「選ばれる」ための戦略を教えていただきました。



左：株式会社eager 五十嵐さん
右：有限会社良品工房 白田さん

参加した皆さんからは、「商品の背景にあるストーリー作りが大切だと気づいた」「自分の農産物も、工夫次第でもっと価値を高められる！」といった前向きな声が続出。平川市のポテンシャルの高さを再認識する、熱気あふれる時間となりました。

1年の総仕上げ。平川市産業振興推進会議

2月には「平川市産業振興基本構想推進会議」が行われました。

この会議には、農林水産業、商工業の代表者、農協や商工会の関係団体、そして学識経験者の皆さんが集結。

まさに平川市の「産業のオールスター」による会議です。

今年度行った農家さんへのヒアリング結果や、来年度に向けた取り組みの方向性について、活発な意見交換が行われました。

委員からは、「平川市のブランドをどう確立していくか?」「台湾の百貨店でいった物産PRの評価は?」といった未来を見据えた質問のほか、大雪被害への対策を問う声など、現場の状況を反映した議論が交わされました。



平川市の挑戦は、これからも続きます

令和5年度に「平川市産業振興基本構想」を策定し、歩みを進めてきました。理想の姿への道のりはまだ半ばですが、私たちの強みである「農業」を軸に、多くの産業を巻き込みながら、「いつまでも住みやすい平川市」を目指して一歩ずつ進んでいます。

全5回にわたってお届けしてきた平川市公式noteの連載、いかがでしたでしょうか？少しでも平川市の「今」と「これから」に興味を持っていただけたら嬉しいです！

noteの更新はここで一旦お休みをいただきます。
また春頃にお会いしましょう！